

「とっどりの評判記」

第16話

なんでも

モダン都市・とっどりの横顔(その2)



やまびこ博士

こだまちゃん



山本尚文館(片原二丁目)

1



ライオン商会工場(駅前)

2



土井製パン(瓦町)

3



鳥取土産館(駅前)

4

【掲載写真は、すべて「因幡之葉」より】

こだまちゃん: とういうわけで、タイムマシンに乗って昔の鳥取にやってきました!

やまびこ博士: ここは大正15年。山陰の首都を自認し、これから「グレート鳥取」を作りあげようとする気概に満ちた、鳥取の町だよ。

こだまちゃん: 変わったお店がいっぱいあるわね!

やまびこ博士: ではまず、片原通りにあったこの本屋さん①に入ってみよう。

こだまちゃん: わあ、本が一杯!

やまびこ博士: ここは、実験器具や最新の書籍などを扱っていた尚文館書店。洋風の店構えに、モダン指向がよく見えるね。

こだまちゃん: ここでショッピングしていると、「進んだ人」になったみたい。

やまびこ博士: じゃあ、次はここだ②。

こだまちゃん: くんくん。なんだか爽やかな匂い。

やまびこ博士: その正体は、これ。ラムネの香料だよ。

こだまちゃん: おいしい! 他にもオレンジジュースとかサイダーを作っていますね。

やまびこ博士: 鳥取駅前にあった、ライオン商会の工場だよ。ライオン・ブランドのラムネやシトロンは、山陰だけでなく京阪神や九州にも出荷されていたそう。

こだまちゃん: こっちはパン屋さんね③。みんな鳥取オリジナルだ、すごい!

やまびこ博士: 今日、こだまちゃんを連れて行ってあげられるのはほんの一部だけれど、この時代の賑わいが、少し感じてもらえたかな。

こだまちゃん: うん、とっても楽しいまちでした!

やまびこ博士: じゃあ、最後にここ④でおみやげを買って帰ろうか。

こだまちゃん: わあい!

【佐々木孝文(鳥取市歴史博物館学芸員)】

《参考文献》

『城下町鳥取・まちづくりのゆみ』(平成16年)鳥取市歴史博物館図録
『御成婚記念因幡之葉』(大正15年)鳥取県立図書館所蔵